みやぎのボランティア
市民活動情報誌

2015
vol.214

毎月1日発行

3月号

杜の伝言板
月刊ゆるる

特集 動物を巡る話シリーズ第1弾

動物を巡る幸せな話

●第3回国連防災世界会議パブリック・フォーラム
検索・投稿ポータルサイト 『pubfo-sendai』
（2015防災世界会議日本CSOネットワーク（JCC2015）事務局）

●第3回国連防災世界会議パブリック・フォーラム
「市民協働と防災」テーマ館 開催イベント一覧
（防災からまちづくりを考える実行委員会）

復興への道 被災地レポート～石巻編～
「命」を地域で守り、育んでいく
NPO法人ベビースマイル石巻

みやぎNPOプラザからのお知らせ
日頃の防災意識を大切に！
～震災から5年目をむかえるにあたって～

杜の伝言板ゆるる
ホームページ

特集　動物を巡る話シリーズ第１弾

動物を巡る幸せな話

近頃、「かわいいから」とあまりにも簡単に動物を飼ってしまう人が増える傾向にあります。人と動物が共に幸せに生きるために、よりよい関係を築きたいと活動する人たちがいる一方で、倫理もなく無責任に飼育放棄や動物虐待をする人たちがいる…。この特集は二回に渡って、動物を巡る「幸せな話」と「不幸な話」に分けてお届けします。

動物福祉と社会福祉

「動物福祉」という言葉をご存知でしょうか。動物福祉(Animal welfare)は、人間が動物に対して与える痛みやストレスなどの苦痛を最小限に抑えるなどの活動により動物の心理学的幸福を実現する考えのことをいいます。社会保障の福祉と誤解されることもあり、和訳せずにアニマルウェルフェアと表記することもあります。アニマルセラピー(※)などの動物を利用した医療や福祉という意味ではありません。また、人間が主体で義務である「動物愛護」とは違い、動物福祉は主体が動物にあり、功利主義で動物にとって幸せかを考えます。

先日、仙台市主催の動物愛護セミナーがあり、「人と動物が共に幸せに生きていく優しい街を目指して」をテーマに基調講演、そしてパネルディスカッションが行われました。

基調講演をした仙台市動物愛護協議会会長である佐藤衆介さんは、精神疾患の有病率は四～五人に一人ともいわれ、若者の病気の半数以上が精神疾患で自殺も増えていると話しました。メンタルヘルス問題で一カ月以上休業または退職した労働者がいる事業所は二〇一二年で八・一％にも上るそう。その一助に、ペットによる動物介在活動や動物介在療法が期待されているのです。

しかし、介在動物の福祉レベルを高める必要もあります。OIE(世界動物保健機構)では福祉を「健康で、快適で、栄養状態が良く、安全で、内的に動機付けられた行動ができ、そして苦痛、恐怖、慢性的ストレスのような不快な状態にないこと」と定義しています。「彼らは感受性のある存在であるからこそ、動物福祉が重要で大切にしなければいけない」と佐藤さんは強調しています。

新鮮な水、餌の提供、病気や怪我の予防と治療、取り扱いの丁寧さに加え、正常行動を発現させてやれる世話と飼育環境の整備がなされて、はじめて私たちの社会福祉に貢献できるのだといえます。

農福連携と動物福祉

現実の社会に不適合な人たちの居場所をいかにつくるかが課題になっています。その解決策のひとつが農福連携です。農業は働く場所として、セラピー的要素もある「居場所」を作りだせるのでしょうか。

アニマルウェルフェアの先駆として放牧豚がありますが、放棄地を活用したスモールビジネスなので高齢者など弱者でもできるといいます。味がよいことも科学的に立証されている上、動物にとって心地よいアニマルウェルフェアの考えに基づいた環境は、障がい者が働きやすい環境でもあり、農福連携が成り立つポイントとなっています。

一方で、生産には少しコスト高になってしまうこともあり、福祉レベルを上げれば利益追求との間に必ずギャップが生じます。「人と動物が共に幸せに生きていく優しい街を目指して」一歩前へ進むには、人間も動物も少しずつ我慢して、社会全体の幸福度を上げて

いくことではないでしょうか。動物の福祉を考えることはすなわち、人間の福祉を考えることにもなるわけですから。

アニマルセラピー

セミナーのパネリストを務めたＮＰＯ法人エーキューブ理事長の齋藤文江さんに話を聞きました。

二〇〇二年から人と動物のふれあい活動を中心に、福祉施設や学校などを訪問し、動物の持つ温もりや優しさにふれてもらうボランティア活動を続けているＮＰＯ法人エーキューブは、仙台市主催の「動物介在活動ボランティアセミナー」の受講生らが、自発的に立ち上げた団体です。アニマルウェルフェアを守り、会員の家族として幸せに暮らしている動物たち（主に犬）が活躍しています。

「動物介在活動」とは、動物とふれあうことによる情緒的な安定、レクリエーション・ＱＯＬの向上等を主な目的とするふれあい活動です。一般にアニマルセラピーとよばれる活動です。「ボランティアする会員たちにとっては、自分の愛犬が活躍し、褒めてもらえることがとても誇らしく、『みんなが笑顔になる』それが活動の原動力になっています」と齋藤さんは話します。

▶エーキューブ齋藤さん

◀仮設でのふれあい活動の様子

老人や障がい者の福祉施設への訪問活動では、その効果に驚かされます。「あの人はムリだよ」と、施設の人たちも笑顔を見たことが無いという高齢者が、犬と接したらとても穏やかな表情を見せてみんなびっくりしたとか、いつも大声で騒いでいる人が落ち着いて静かになったり、認知症で職員の名前すら覚えられない人が訪問する犬の名前をちゃんと覚えているなど…まさに奇跡そのものです。

震災時から三年間、荒浜地区の仮設で、子どもたちの心のケアを目的にふれあい活動を続けてきました。震災前から訪問していた小学校が被災したと聞き、心配で会員たちと駆けつけました。「次はいつ来るの？」と子どもたちから訪問を望む声が多く寄せられ、次第に笑顔も増えていきました。

子どもと動物

不登校の子どもたちを支援する適応支援センターへの訪問活動も子どもたちに人気があります。犬がいるから行ってみようかなと、外へ出るきっかけになっています。犬を通して人と話すことができたり、徐々に活発になって人と接する社会性が生まれています。

また、小学校で、正しい動物とのふれあい方や命の大切さを学んでもらう「動物介在教育」を、年齢に合わせたプログラムを組んで行っています。低学年では動物の命と世話をすることについて、中学年では人と同じ命を体感することや犬について調べる活動、高学年では管理センターで処分される動物のことや命の重さや動物を迎えるときの責任について考える機会としています。

▶犬との接し方を学ぶ小学生

「犬嫌いの子はたいてい犬との接し方を知らないから、起こった不幸を犬のせいにして犬を悪者にしてしまいます。動物の行動を知り学ぶことで初めて、人と動物の良い関係が築けるのです。よい体験は感受性を育み、心やさしい子どもに成長することに生かされます」と齋藤さん。

犬は人に寄り添って傾聴してくれる動物です。黙って人の話をよく聞いて、人に何かを命令することもない。そして温かみのある存在です。だから犬と一緒にいると人の心は落ち着くのでしょう。私たちの人としての生き方が問われています。

次号につづく。

（取材・執筆　黒森きのこ）

※動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育を表す、日本でのみ通じる造語

第3回国連防災世界会議パブリック・フォーラム

検索・投稿ポータルサイト『pubfo-sendai』

http://sendai-forum.info/

2015防災世界会議日本CSOネットワーク（JCC2015）事務局
ピースボート災害ボランティアセンター 理事
合田 茂広

パブリック・フォーラム（市民向けイベント）

いよいよ「第三回国連防災世界会議」の開催が近づいてきました。各国代表団が二〇一五年以降の防災目標「ポストHFA（兵庫行動枠組）」を議論する本体会議会場となる仙台国際センターの展示棟も完成し、国連でも準備が大詰めを迎えています。

三月十四日から十八日の五日間、本体会議と並んで開催されるパブリック・フォーラム（市民向けイベント）では、仙台市内の各会場で行う無料のセミナー・シンポジウムだけで約四〇〇の企画が行われます。セミナー・シンポジウムなどの発表だけでなく、せんだいメディアテークでは東北の自治体や企業、市民・住民団体、国連や海外の団体によるブースがずらり。勾当台公園で開催されるのは、「防災のひろば・国際交流のひろば」。いわば国際防災フェスティバルです。災害時の特殊車両や装備の特別展示や音楽ステージ、世界各国の料理が並ぶワールドキッチンなど、ふらっと立ち寄った方でも楽しく学べるようにと工夫されています。特に、十年前の第二回国連防災世界会議（於：兵庫・神戸）と比べると、今回はNGO／NPOなどの市民企画が格段に増えたのも特徴です。

どのイベントに参加すればいいの？

とはいえ、「パブリック・フォーラムと言われても、自分が国連の会議に参加できるとは思っていなかった」、「数が多すぎて、興味のあるイベントを見つけづらい」などの感想もよく耳にします。ホスト都市である仙台市の会議公式ホームページでも、パブリック・フォーラム一覧から日付やワード検索の機能を付けた特設サイトを開設するなどの工夫を行っていますが、これから本番までは、もっと各イベントの企画者が主体的に情報発信をする必要があります。また、参加する側にとっては、「これ、勉強になるよ」と誰かに背中を押してもらえた方が迷いが少なくなるのかもしれません。

そこで、「2015防災世界会議日本CSOネットワーク（以下、JCC2015）」では、そのためのツールとして、パブリック・フォーラム（市民向けイベント）の検索・投稿ポータルサイト「pubfo-sendai」を作りました。

特徴のひとつは、新しく決まった登壇者情報やイベントサイトのURLなどを各イベント主催者自身が投稿でき、自ら情報発信できること。一方、検索するユーザー側には日付やテーマでタグ付けされた「あなたにオススメ」のイベントが表示される機能（Amazonのような機能）が付いていることです。英語対応もしているので、海外からの会議参加者も活用できます。「どのイベントに参加すればいいの？」と思っている人は、ぜひ一度覗いてみてください。

■『pubfo-sendai』の特徴

1. フリーワード検索に加え、テーマを選択し検索ができる。
2. 主催者からの追加情報を、随時挿入することができる（画像含め）。
3. ユーザーがあるイベントを選択すると、日付・テーマなどが似たものが、「あなたにオススメのイベント」として表示される。
4. 各自のFacebookアカウントから、各イベントにコメントを付けることができる。

3.17『市民防災世界会議』メインイベント

出演者紹介（敬称略）

日　時　3月17日(火)13:00～16:30　　場　所　東京エレクトロンホール宮城 大ホール

国際ゲスト対談

「ポスト兵庫行動枠組と、これからの市民防災」

- マーカス・オクスレイ（GNDR地球市民社会のための防災ネットワーク代表）
- マヌー・グプタ（ADRRNアジア防災・災害救援ネットワーク代表）
- 堂本　暁子（JCC2015共同代表／男女共同参画と災害・復興ネットワーク代表／元千葉県知事）

パフォーマンス

「東北から世界へ！」

- 伊達の黒船太鼓（保存会）[石巻市雄勝町]
- 臼澤鹿子踊（保存会）[大槌町]
- 合唱・映像・ダンス（アート・インクルージョン）[仙台市]

メインシンポジウム

「ボランティア元年から20年 ～地域と人がつくるレジリエンス～」

モデレーター　堀　潤（ジャーナリスト）

登壇者
- ラファエル・オボンヨ（ケニア／UNISDRアフリカユースネットワーク・コーディネータ）
- リサ・オーロフ（米国／NPO「World Cares Center」代表）
- 大塚　真光子（柏崎市社会福祉協議会）
- 山本　隆（ピースボート災害ボランティアセンター代表理事）

総合司会者

石川　牧子
元日本テレビアナウンサー
仙台出身

「市民防災世界会議」公式ホームページ

http://civilsociety.jcc2015.net/

参加無料 予約はWEBで！

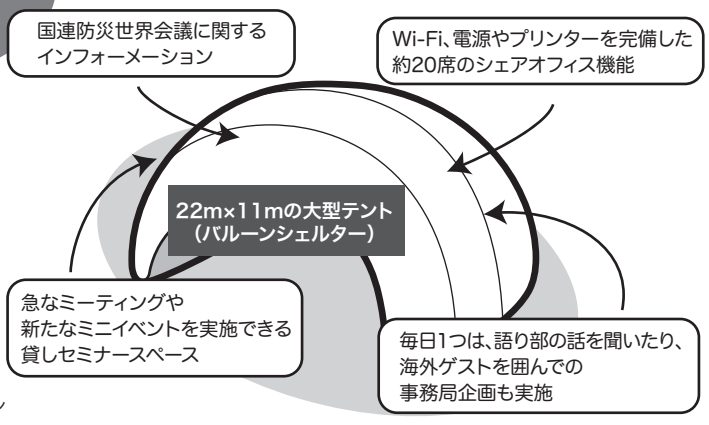
3.14～18 勾当台公園「国際交流のひろば」

多目的市民交流テント「People's Pavilion」（ピープルズ・パビリオン）

日　時　3月14日(土)～3月18日(水)9:00～18:00
場　所　勾当台公園・市民広場

JCC2015では、「本体会議もパブリック・フォーラム（市民向けイベント）も会場が分かれていて、全体像がつかめない」、「来日した海外ゲストと一般市民が出会える場所がほしい」という声に応えるため、期間中の勾当台公園にそのアクセスポイントとなるフリースペース「ピープルズ・パビリオン」を設置します。お気軽にどうぞ。

ピープルズ・パビリオンにはこんな機能があります



※協力：第3回国連防災世界会議仙台開催実行委員会、ピースウィンズ・ジャパン

セカイと学ぼう。市民のための防災会議へ！

「市民防災世界会議」とは、第三回国連防災世界会議パブリック・フォーラム（市民向けイベント）最大の市民企画で、「市民協働と防災テーマ館」の特別企画でもあります。三月十四日～十六日は一日三つ、合計九つのテーマ別セッション。最終日に行うメインイベントは、対談やシンポジウム、パフォーマンスなど盛りだくさんの内容。参加無料。ぜひお越しください！

pubfo-sendai、市民防災世界会議、ピープルズ・パビリオンのお問い合わせは

2015防災世界会議
日本CSOネットワーク共同事務局
ピースボート災害ボランティアセンター

- TEL：03-3363-7967
- E-mail：jcc_event@jcc2015.net
- URL：http://jcc2015.net/

マチノワ
Civil Society Collaboration and DRR

第3回 国連防災世界会議
パブリック・フォーラム
「市民協働と防災」テーマ館

第３回国連防災世界会議において、仙台市市民活動サポートセンター（サポセン）はパブリック・フォーラム「市民協働と防災」テーマ館となります。
ここでは、サポセンを会場に開催されるイベントを一挙に紹介させて頂きます。

各イベントについてのお問合せ先：
防災からまちづくりを考える実行委員会事務局
（080-1691-4734）

	6F セミナーホール	4F 研修室５	3F 交流サロン / 他会場 ※会場の記載がないイベントの会場は3F交流サロンです。
14 SAT ひきだす	9:30-11:30 「防災ウォークラリー」自分のみんなの命を守るために ●公益財団法人 YMCA 同盟、公益財団法人仙台 YMCA 12:40-13:40 / 14:00-15:00 TOMODACHI から宮城へ　宮城から世界へ（２部構成） ●TOMODACHI RAW VOICE 16:30-18:10 小さな命の意味を考える～あの日の大川小学校の校庭から学ぶもの～ ●NPO 法人 KIDS NOW JAPAN 19:30-21:20 『国際 NGO の東北支援談話ナイト～地域とつくるコラボレーション～』 ●認定 NPO 法人ジャパン・プラットフォーム	10:00-11:30 支援力と受援力～あなたにも”ちょこっと”できることがきっとあるはず～ ●NPO 法人アフタースクールぱるけ 13:40-16:00 防災・減災ワークショップ～命を守る～「東日本大震災を未来へ」 ●チーム東中田っ子 19:00-20:30 わが家の災害対応ワークショップ ●一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンター	14:00-15:00 人と地域に元気を ●NPO 法人生活習慣改善センター 10:00-17:30 世界と防災 ●市民防災世界会議 ※会場：5F 交流サロン 10:00-21:00 伝える学校発表会 ●伝える学校 ※会場：B1F 市民活動シアター
15 SUN ささえる	9:50-12:00 防災教育の取り組み「防災エンスショー」と「ドキュメンタリー映画」 ●仙台市の防災教育を推進する実行委員会 13:30-16:30 仙台発事業そなえゲーム～仙台市市民協働提案制度により開発～ ●市民協働による地域防災推進実行委員会 18:30-21:00 「分譲マンションの防災」 ～分譲マンション管理組合の防災への取組み～ ●一般社団法人宮城県マンション管理士会	9:00-12:00 しあわせの黄色いハンカチプロジェクト ●公益社団法人仙台青年会議所 14:00-15:00 「仙台市災害応急用井戸」の市民へのお知らせは町内会で ●上愛子学区連合町内会 19:00-21:00 命をまもり、未来を守るためのモノとコト ●み・まもるプロジェクト実行委員会	10:15-11:45 「まちと防災と資金調達」を考える ●市民活動の運営を支援するプラットフォーム研究会 14:00-15:00 3・11 から未来へ～10 年スパンで取り組む福祉・防災学習実践～ ●一般社団法人コミュニティ・4・チルドレン 19:00-21:00 多様な人々が互いに尊重しながら暮らしていくには～多様な性の当事者と東日本大震災～ ●レインボーアーカイブ東北 10:00-17:30 復興と防災 ●市民防災世界会議 ※会場：5F 交流サロン 10:00-17:00 伝える学校発表会 ●伝える学校 ※会場：B1F 市民活動シアター
16 MON つながる	10:00-12:00 大規模災害からの復興における広域連携コーディネートのありかたを考えるーいわて・みやぎ・ふくしま　3 県連携復興センターの取組からー ●みやぎ連携復興センター・いわて連携復興センター・ふくしま連携復興センター 14:00-16:00 まちづくり情報誌「038 プレス」の挑戦～食糧備蓄アンケートから見える都市部の防災意識の実態と方策～ ●お宮町地域情報編集局 18:30-20:00 現地報告　復興まちづくり・コミュニティづくりの現状と課題 ●一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム	9:35-11:35 笑顔でつながる「杜の子まつり」報告と「心のケア講座」 ●NPO 法人せんだい杜の子ども劇場 14:00-16:00 自然体験をつうじた NPO の連携による子どもの支援事業 ●子どもが自然と遊ぶ楽校ネット 19:00-21:00 Thinking of NPO　～加藤哲夫氏資料から東日本大震災後の NPO を考える～ ●NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター　Kproject	9:00-12:00 ペットハウスをデザインしよう！セルフビルド建築ワークショップ ●一般社団法人まきビズ 10:00-17:30 ダイアログ ●市民防災世界会議 ※会場：5F 交流サロン
17 TUE ひろげる	9:30-12:00 みつけよう！地域から。つなげよう！私たちのそれぞれの復興と防災 ●東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター 13:30-16:55 大学間連携災害ボランティアネットワーク主催フォーラム「復興に関わる学生ボランティアと大学の役割」 ●大学間連携災害ボランティアステーション	9:45-11:35 東日本大震災における塩竈市と NGO の連携 ●NPO 法人オペレーション・ブレッシング・ジャパン 13:00-17:00 被災地から伝える思い（展望室＆FM 放送局付き発電風車の紹介） ●NPO 法人底上げ 18:30-19:40 避難所運営トーク～こうしてよかった。 ●セブラルタイムス	9:30-11:30 災害後も人と動物が共に幸せを過ごすために ●NPO 法人エーキューブ 13:00-16:30 「市民防災世界会議」メインイベント ●市民防災世界会議 ※会場：東京エレクトロンホール宮城 大ホール

●は実施団体

「命」を地域で守り、育んでいく

●NPO法人ベビースマイル石巻

レポーター紹介

NPO法人いしのまき
NPOセンター
武山 加奈さん

いしのまきNPOセンターのスタッフをしています。中間支援団体として、石巻市NPO支援オフィスの施設管理、巻.com（ポータルサイト）の運営をしています。

NPO法人ベビースマイル石巻は、地域で子どもを安心して出産し、育てることができる「お産と子育てに強いまちづくり」を目指し、二〇一一年五月に任意団体として活動を始めました。

これまでの生活が大きく変わり、精神が不安定になりやすい、妊娠・出産。特に気持ちが沈みやすい産後は、子育ての苦労も重なり「大変さは自分にしか分からない。誰も理解してくれない」と、多くのお母さんが社会からの孤立を感じてしまう時期です。核家族、地域コミュニティの希薄化も関係し、子育てをお母さんが一人で担うケースも少なくありません。

ベビースマイル石巻代表理事・荒木裕美さんも、孤立感を抱え、辛い時期がありました。それを救ってくれたのは、ベビースマイル石巻の前身となる「親子ビクス」との出会いでした。子育ての大変さを共有できる場所があることにほっとし、いろいろな考えを聞いて学び、視野が広がったそうです。なにより嬉しかったのは、悩んでいるのは自分だけじゃないと思わせてくれる、当事者のお母さんたちの存在でした。そんな自身の経験もあり、お母さんたちがほっとできる居場所を作りたい、震災で傷ついた親子の心のケアが必要だと感じたことが、現在の活動に繋がっています。

活動の源は、命の大切さ

これまで、サロンやイベント開催、子育てに関する情報提供等、行政や支援団体と協働し、安心できる子育て環境を整備する活動を続けてきました。二〇一二年四月には、産婦人科医、子育て支援団体、行政の子育て関係者などさまざまなメンバーと結成した「ボンボンカフェプロジェクトチーム」での活動もスタートしました。プロジェクトの一つとなる「ボンボンカフェ」は、多くの親子が集い、お茶を飲みながら気軽に情報交換ができる場として、仮設集会所で定期的に開催されています。

それらの活動の根底にあるのは、震災を体験し、改めて実感した「命」の大切さです。「自然災害は防ぐことができませんが、人の力で防げることはあります。地域でネットワークが作られ、お互いが見守られる関係であれば、震災時に助け合えたり、子育ての孤立が原因で心配とされる虐待など、命に関わる問題を未然に防ぐことができます。地域全体で命を繋いでいきたい」と話す荒木さん。

「命」は、自分だけでは守りきれない、多くの人によって守られるもの、子育ては地域に密着したものだということを、活動を通して伝えています。

▶親子で賑わうボンボンカフェの様子

子育てが楽しい地域を目指して

今年二月、ベビースマイル石巻は新しい活動として、妊婦～未就園児親子の子育てひろば「スマイル（仮称）」を開設しました。乳幼児から未就園児の子ども達が遊べ、親子がゆっくり過ごせる場所です。妊娠中の方や、子育ての相談などをしたい方も気軽に利用できます。現在はプレオープン中で、本格オープンは四月を予定しています。「子育てが楽しそうな石巻に住みたい。もっと子どもを産みたい。そんな風に思ってもらえる地域になったらいいな」と荒木さん。

ベビースマイル石巻の活動は、人がいてこそ成り立つ「まちづくり」の原点となっています。

NPO法人ベビースマイル石巻
〒986-0871　石巻市清水町1-5-18-501
●TEL：0225-24-8304
●E-mail：ishinomaki@forbabysmile.com
●URL：http://www.forbabysmile.com/

日頃の防災意識を大切に！
～震災から5年目をむかえるにあたって～

みやぎNPOプラザ

このページは、みやぎNPOプラザからのお知らせです。

東日本大震災から間もなく四年が経とうとしています。

四年前の三月十一日のプラザは金曜日の日中ということもあり、交流サロンで打ち合わせをしている団体や、作業室で印刷をしている方々などで賑わっていました。また、会計・税務相談会の真最中でもありました。

長く強い揺れで、至るところの窓ガラスが割れ落ちるなか、スタッフで手分けをして、利用者の方々の避難誘導に向かい、幸い、怪我人もなく、全員が無事に館外へ避難することができました。

宮城県全域のNPO支援施設として

発災後、みやぎNPOプラザでは、沿岸部を含めた宮城県内のNPOへ電話等で、安否確認、被災状況の確認を行いました。また各団体が必要としている支援やNPOが取り組んでいる支援活動の内容などの聞取りを行い、その情報を随時発信しました。

大きな被害を受けた東日本大震災を通し、実際に起こり得る被害を想定して、いざという時にどう動くか意識し備えておくことの重要性を実感しました。それを忘れることのないように、スタッフ一丸となって以前にも増して真剣に取り組んでいます。

今月は国連防災世界会議！

三月十四日から十八日まで、第三回国連防災世界会議が開催されます。それに伴い、仙台市内各所で、防災・減災に関する展示やセミナーなどが開催されます。

みやぎNPOプラザをよく利用する団体も、期間中、関連イベントを開催するため、打合せや資料作成などの準備に奮闘している姿が見られます。

現在、プラザの貸事務室を使用しているNPO法人KIDSNOW JAPANは、十四日(土)午後四時から仙台市市民活動サポートセンターを会場としたパブリックフォーラム「市民協働と防災」テーマ館において、『市民と協働による学校防災』に関するシンポジウムを開催します。

昨年まで貸事務室を使用していたNPO法人防災士会みやぎは、十五日(日)午前九時半より仙台市民会館で、団体で作製した減災絵本「リオン」の読み聞かせ活動の報告セミナーを行います。

その他にも国連防災世界会議に関連して、多文化共生、女性・障がい者・性的少数者などNPOならではの、多様な視点から『防災・減災』を考える催しが行われます。

プラザは会場ではありませんが、多くの人に足を運んでもらおうと、館内に特設コーナーを設けています。参加するセッションを決めかねている方、またボランティアとして参加したい方もぜひ、情報を探しにご来館ください。なお、期間中のボランティアも募集中です。

この機会に、仙台から世界へ『防災・減災』への想いを発信し、意識を高める機会にしていきましょう。

◀館内に設置されている国連防災世界会議特設コーナー

プラザのNPO講座・相談

お申込みはコチラから

法人設立・運営相談	毎週水曜日	13:00～17:00
会計・税務相談	3/7(土) 3/17(火)	13:00～17:00
法律相談	3/6(金)	13:00～17:00

みやぎNPOプラザ
〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
(指定管理者：特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)
☎ 022-256-0505
FAX 022-256-0533
✉ npo@miyagi-npo.gr.jp

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット
http://www.miyagi-npo.gr.jp/

今月の 助成金情報

※詳細については、それぞれのホームページ等の要項をご確認ください。

第27回NHK厚生文化事業団 地域福祉を支援する「わかば基金」

【支援金部門】
●対　　象：国内のある一定の地域に福祉活動の拠点を設け、この支援金でより活動の輪を広げたいというグループ
●助成金額：1グループにつき、最高100万円(7グループ程を予定)
【リサイクルパソコン部門】
●対　　象：パソコンを利用して、すでに地域で活発な福祉活動に取り組み、台数を増やすことで、より高齢者や障害のある人に役立ち、活動の充実を図れるグループ
●贈呈台数：1グループにつき、3台まで(総支援台数50台程度)
【東日本大震災復興支援部門】
●対　　象：被災地に活動拠点があり、その地域で福祉活動を進めているグループ。活動の再整備を進めたい、被災地に必要な新たな事業を展開したいと考えているグループ
●助成金額：1グループにつき、最高100万円(7グループ程を予定)
●対象団体：地域に根差した福祉活動に取り組むグループ
(法人格をもつグループは対象外。但し、NPO法人は申請可)
●応募締切：3月31日(火)必着(郵送のみ)
●連 絡 先：社会福祉法人NHK厚生文化事業団「わかば基金」係
TEL：03-3476-5955(平日10:00～18:00)
E-mail：info@npwo.or.jp
URL：http://www.npwo.or.jp/wakaba/

平成27年度街なか再生助成金

●助成対象：街なかの再生に寄与する土地区画整理事業等を推進する初動期の取組、中心市街地活性化基本計画の達成等の街なか再生に寄与するために実施する取組
●対象団体：まちづくりに寄与する活動・運動・事業等を行う、任意団体、NPO法人、協議会、まちづくり会社
●助成金額：1件あたり上限100万円
●応募締切：3月31日(火)
●連 絡 先：公益財団法人区画整理促進機構
街なか再生全国支援センター
TEL：03-3230-8477
E-mail：abe@sokusin.or.jp
URL：http://www.sokusin.or.jp/machinaka/subsidy/27/subsidy.htm

2015年　全労済地域貢献助成事業

●助成対象：⑴地域の生態系を守る活動
⑵低炭素・循環型の地域社会をつくる活動
⑶地域の自然や環境の大切さを学ぶ活動
⑷子どもや親子の孤立を防ぎ、地域とのつながりを生み出す活動
⑸困難を抱える子ども・親が、たすけあい、生きる力を育む活動
●対象団体：日本国内を主たる活動の場とする、設立後1年以上の活動実績をもつNPO法人、任意団体、市民団体で、直近の年間収入が300万円以下の団体(前年度の繰越金を除く)
●助成金額：1団体あたりの助成上限額30万円
●応募期間：3月25日(水)～4月8日(水)必着
●連 絡 先：全労済　総務部内　地域貢献助成事業事務局
TEL：03-3299-0161　FAX：03-5351-7772
E-mail：90-eco@zenrosai.coop
URL：http://www.zenrosai.coop/torikumi/joseijigyou/

第8回現地NPO応援基金 「東日本大震災復興支援JT NPO応援プロジェクト」

●助成対象：⑴地域の人々の希望を支える事業
⑵地域の人々の主体性を育む事業
⑶地域の人々に長期的視点をもちながら寄り添う事業(概ね5年以上の長期とする)
●対象団体：岩手県・宮城県・福島県のいずれかに活動拠点を置き、1年以上の活動実績を有する民間の非営利組織。(法人格の有無・種類不問)
●助成金額：1件あたり300万円以上、500万円以内
●応募締切：4月15日(水)必着
●連 絡 先：認定NPO法人日本NPOセンター
『東日本大震災復興支援 JT NPO応援プロジェクト』事務局(担当：中川、西口)
TEL：03-3510-0855　FAX：03-3510-0856
E-mail：jt-npo-ouen@jnpoc.ne.jp

第67回　保健文化賞

●助成対象：保健衛生(関連する福祉等)を実際に著しく向上させた団体あるいは個人、保健衛生の向上に著しく寄与する研究または発見をした団体あるいは個人
●対象団体：団体の場合10年以上の実績、個人の場合は50歳以上、活動年数が10年以上で、将来も期待できるもの。但し、東日本大震災被害への支援を主たる目的とする活動に限り、活動年数は不問。
●表　　彰：厚生労働大臣賞(表彰状)、第一生命賞(感謝状：賞金 団体200万円、個人100万円)、朝日新聞厚生文化事業団賞(記念品)、NHK厚生文化事業団賞(記念品)
●募集締切：4月15日(水)当日消印有効
※応募方法については下記URL参照
●連 絡 先：第一生命保険株式会社　DSR推進室
TEL：050-3780-5776(平日9:00～17:00)
URL：http://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/society/hoken02.html

子供たちの環境学習活動に対する助成

●助成対象：小学生以下の子どもを対象に、緑化や自然体験などの環境保全に関する体験・学習活動。
●対象団体：日本国内の保育園、幼稚園、小学校、およびNPO法人等の地域活動団体(助成事業を行う公益法人を除く)
●助成金額：助成対象費用の額、または50万円のいずれか少ない額。予算額計400万円。
●応募締切：5月22日(金)必着
●連 絡 先：公財団法人高原環境財団
TEL：03-3449-8684　FAX：03-3449-2625
E-mail：mail@takahara-env.or.jp
URL：http://takahara-env.or.jp/bosyu/02_env_study.html

●場　　所：①元気フィールド仙台　メインアリーナ
（仙台市宮城野区新田東4-1-1）
②国営みちのく杜の湖畔公園
（柴田郡川崎町小野二本松53-9）
●内　　容：①INWAインターナショナルコーチ・マスターインストラクターによるNWワークショップと交流会
②ノルディックウォーキングフェスティバル
（インターナショナルコーチも参加）
NWタイムトライアル（競技ではありません）
3km／6km／10kmコース
●対　　象：①全国のJNFA有資格者＋NW経験者
②JNFA会員+小学生以上の方
●定　　員：①150名　②400名
●参 加 費：①JNFA会員4,000円／一般5,000円（保険料含）
②JNFA会員・一般2,500円／小学生500円
（公園入園料・保険料含）
●申込方法：下記連絡先に問合せのうえ、参加
●申込締切：3月20日（金）
●主　　催：NPO法人日本ノルディックフィットネス協会
「伊達なNWプロジェクト」
●連 絡 先：TEL/FAX：022-719-4233
E-mail：sendai@jnfa.jp
URL：http://date-nw.jimdo.com

3/29 CILたすけっと & ゆめ風基金 20周年共同企画イベント「風街フォーラム」

CILたすけっと、ゆめ風基金はともに創立20周年。阪神・淡路大震災から20年。東日本大震災から4年。これまで活動されてきた先輩方に、障がい者運動の歴史を伺います。そして、マスメディアでは断片的にしか取り上げられない、被災地の障がい者を取り巻く新たなる課題や問題点を考えます。

●日　　時：3月29日（日）9:30開場、受付開始
【第1部】10:00～12:00（受付9:30～）
【第2部】13:00～16:00（開場12:40～）
●場　　所：仙台市シルバーセンター7階　第1研修室
（仙台市青葉区花京院1-3-2）
●内　　容：【第1部】“そよ風のように仙台へ出よう”～障がい者運動の先達から私たちが受け継ぐための会～
【第2部】津波・原発・障がい者、あの日と今とこれからと。～ドキュメンタリー映画「逃げ遅れる人々～東日本大震災と障がい者～」出演者のその後～
●参 加 費：資料代500円
●定　　員：170名
●情報保障：手話通訳・要約筆記有
●主　　催：CILたすけっと、認定NPO法人ゆめ風基金
●連 絡 先：CILたすけっと
TEL：022-248-6054　FAX：022-738-9501
E-mail：cil-tasuketto@k6.dion.ne.jp
URL：http://blog.canpan.info/tasuketto/archive/1191

3/29 第43回　てつがくカフェ「震災と音楽」

わたしたちの日常には、音楽があふれています。今回のてつがくカフェでは、震災と音楽をめぐる対話のなかで、わたしたちと音楽との関係性、わたしたちの生について、みなさまと一緒に問うていくことができればと思っています。ぜひ、ご参加ください。

●日　　時：3月29日（日）15:00～17:00
●場　　所：せんだいメディアテーク　7階スタジオａ
●内　　容：テーマ「震災と音楽」
●参 加 費：無料（申込み不要・直接会場へ）
●主　　催：てつがくカフェ@せんだい
せんだいメディアテーク
●連 絡 先：せんだいメディアテーク（担当：清水チナツ）
TEL：022-713-4483　FAX：022-713-4482
E-mail：tanishi@hss.tbgu.ac.jp
URL：http://table.smt.jp/

4/3 環境対策と健康講座

米のとぎ汁2Lを川に流すと、浄化するためにはお風呂の水約4杯分が必要なのをご存知でしたか？ところが、この米のとぎ汁に、人間の体に有益な微生物（酵母菌・こうじ菌など）を入れて発酵させると…魔法の水に大変身するんです。もうご存知の方も初めて耳にする方も「目からウロコ！」の役立つ内容です。

●日時場所：4月3日（金）　名取市文化会館　会議室
【第一部】10:00～12:00　【第二部】13:00～15:30
●内　　容：【第一部】環境からの健康＝米のとぎ汁発酵活用法
■講師　菊地素博氏
【第二部】体の中からの健康＝ほんとうの健康って何？
■講師　三浦和恵氏
●持 ち 物：1.5または2Lの空のペットボトル
第一部・第二部通して参加の方は昼食
●参 加 費：無料
●申込方法：下記連絡先にTELで問い合わせ
●主　　催：NPO EMプラネット蘇生塾
●連 絡 先：（担当：三浦）
TEL：022-275-8651、090-9747-3610
FAX：022-275-8651

情報をお待ちしています

○申込方法：問合せ先を明記の上（初めてご利用いただく団体は団体概要も添付）、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。　掲載は無料です！
○締切：毎月15日（翌月15日以降開催・締切となる情報を掲載します）
○誌面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852　仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL：022-791-9323　　FAX：022-791-9327
e-mail：npo@yururu.com

編集後記

ヒツジは仲間の顔を2年以上も覚えているそうです。写真を見せる実験で、「これは仲間のヒツジだ」とか、いつもやさしくお世話してくれる人の顔とか見分けることができる。種と態度を区別する細胞があって、親和的関係が作られるらしいのです。そういえば、うちのキャバリア犬のモカは大の車好き。愛車のことはよく認識しているようで、水色の軽に妙に反応します。（きのこ）

年明けから仙台市内の様々な場所で、国連防災世界会議のポスターを見かけるようになりました。いよいよ今月14日から、国連会議のほか、市民も参加できるパブリック・フォーラムが仙台市内をはじめ、福島県、岩手県、青森県各所で開催されます。私も、期間中はボランティアで参加する予定です。この原稿を作成している今は、まだどのイベントに参加することになるのかがわからずドキドキですが…お役に立てるよう、頑張ります！（村上）

15:00～　アピール行進（一番町～青葉通）
●賛 同 金：賛同団体・個人大大募集！
【賛同金】個人/一口1,000円　団体/一口3,000円
※賛同された方は、ブログ等で紹介させていただき、当日資料へも記載いたします。匿名希望の方はその旨お知らせください
【郵便振替口座】02280-2-135354
【口座名】女川原発再稼働を許さないみやぎアクション
※振込手数料のご負担をお願いいたします。
●主　　催：女川原発の再稼働を許さない！2015みやぎアクション
●連 絡 先：TEL/FAX：022-373-7000
E-mail：hag07314@nifty.ne.jp
URL：http://dkazenokai.blog.fc2.com/

3/24 ひゃくねんモンスター「みんなが思うほど人生は長くないんだ」

子どもから高齢者、親子連れや、障がい者、誰もが楽しめる舞台公演「ひゃくねんモンスター」。会場へ一歩入ると、そこはどこか知らない架空の村。村では何が起こるかわからない、何を目撃するかはあなた次第。

●日　　時：3月24日（火）～3月25日（水）全3ステージ
●場　　所：宮城野区文化センター　パトナシアター
（仙台市宮城野区五輪2-12-70）
●内　　容：【第1部　村の誕生】
3/24　①13:00～ ②18:00～　3/25　10:30～
【第2部　物語のはじまり】
3/24　①14:30～ ②19:30～　3/25　12:00～
●参 加 費：【一般】前売り2,500円、当日3,000円
【割引】2,000円、当日2,500円
※割引対象：シニア65歳以上、U-25、未就学児（5歳以下）連れ
【障がい者・高校生】500円
●申込方法：チケット予約ページURL
（ＰＣ）https://ticket.corich.jp/apply/61414
（携帯）http://ticket.corich.jp/apply/61414
E-mailでお申込の際には、sunp.yoyakumail@gmail.comにご連絡下さい。
本文に氏名、TEL・E-mail、希望日時、枚数を明記して下さい。
●無料送迎：お一人でのご来場が困難な方は公演ボランティアが無料で送迎。（予約制、事前問合せ要）
※対象：自力での移動が困難な方、ご高齢の方、障がいをお持ちの方
●主　　催：NPO法人アートワークショップすんぷちょ
●連 絡 先：TEL：070-5017-5904（代表10:00～18:00）
E-mail：sunp.yoyakumail@gmail.com（担当：菊地）
URL：http://www.sun-pucho.com/

3/26 第12回　ブラジル塾

ブラジルの社会や文化、歴史を学び、日本とブラジルの交流推進を目的とする定期講座です。

●日　　時：3月26日（木）18:00～20:00
●場　　所：エル・パーク仙台スタジオホール
●内　　容：「ブラジルと宮城県の関わり」
第一部　カンファレンス　18:00～19:00
第二部　懇親会　19:10～20:00
講師：京極昭氏（宮城・ブラジル友好協会会長）
歌手：松田美緒氏
●定　　員：150名
●参 加 費：無料（第二部は1,000円）
●申込方法：下記連絡先へFAXまたはメールで申込
●主　　催：宮城・ブラジル友好協会
●連 絡 先：（担当：高橋）
TEL：070-6950-9825　FAX：050-3730-6337
E-mail：info@miyagibrazil.com
URL：http://miyagibrazil.com/

3/28 重大事件に学ぶ、犯罪に巻き込まれた子どもたちのケア ー加害者家族の子どもたちの支援ー

5年間で50件以上の重大事件の加害者家族を支援してきた全国で唯一の加害者家族支援団体、NPO法人World Open Heartが重大事件が及ぼす影響の恐ろしさと事件後の加害者家族の人生について現状を報告します。

●日　　時：3月28日（土）14:00～16:00
●場　　所：仙台市市民活動サポートセンター
セミナーホール（仙台市青葉区一番町4-1-3）
●参 加 費：無料
●申込方法：当日会場に直接お越しください
●主　　催：NPO法人World Open Heart
●連 絡 先：TEL/FAX：022-398-7129
URL：http://www.worldopenheart.com/

3/28 新なとセンお披露目会

震災で閉館していた『なとセン』（名取市市民活動支援センター）が4月1日、利用再開します。その前に、どんな施設になったのか、お披露目会を開催しますので、ぜひおいでください。名取市で活動している多くの団体の活動紹介と展示、そして交流会も同時開催です。

●日　　時：3月28日（土）13:00～17:00
●場　　所：名取市市民活動支援センター 全館
●内　　容：・施設概要紹介
・市民活動団体のパネル展示および活動紹介（13:20～）
※参加者は館内を自由に見学可能
・交流会（15:00～）
●参 加 費：無料
●主　　催：名取市
●企画・実施：NPO法人杜の伝言板ゆるる
●連 絡 先：名取市市民活動支援センター
〒981-1232　名取市大手町5-6-1
TEL：022-382-0829（火曜休館）
FAX：022-382-0841
E-mail：npo@natori-npocenter.or.jp

3/28 全国伊達なNW（Nordic Walking）フェスティバル ～INWA公認インターナショナルコーチがやってくる！～

インターナショナルコーチ・マスターインストラクターによるワークショップ、NWタイムトライアルに参加してノルディックウォーキングの新しい目標を見つけよう！交流会や楽しいプログラムもあります。

●日　　時：①3月28日（土）10:00～16:00
②3月29日（日）9:30～15:00

●連 絡 先：TEL：080-9632-1744
E-mail：ogwssm1954@gmail.com

3/18 4/15 決算書作成2回連続講座 ①やってみよう！はじめの一歩、試算表づくり ②まとめよう！財務諸表～完成までの道～

NPOの決算は何をすればいい？決算書に不安がある…そんなあなたに朗報です！ 3月・4月と2回の連続講座（※）で、実際に自分の手を動かすワークを通して決算書作成のコツをお伝えします。※連続講座ですがどちらか1講座のみの受講も可能です。

●日　　時：①3月18日（水）13:30～16:30
②4月15日（水）13:30～16:30
●場　　所：みやぎNPOプラザ　第2会議室
●講　　師：成田 由加里さん（税理士、公認会計士）
●内　　容：①試算表の作り方、試算表を作る際のポイント
②財務諸表の作り方、財務諸表を作る際のポイント
●対　　象：NPO・市民活動団体の代表者、スタッフ、会計担当者など
●定　　員：20名（申込先着順）
●参 加 費：1,000円（税込）
●申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み
FAX・E-mailで申込みの場合、下記連絡先URLより申込書をダウンロードし、必要事項を記入して下さい
●主　　催：宮城県（みやぎNPOプラザ）
●企画･実施：NPO法人杜の伝言板ゆるる
●連 絡 先：みやぎNPOプラザ（連絡先は、P8をご覧ください）
URL：http://www.miyagi-npo.gr.jp/plaza/jigyou/koza_k20150318.html

3/20 地域に根ざしたブログを使ってみよう！ ～皆さんの情報発信が、人と人をつなぎます～

FacebookやTwitter等、近年はSNSでの情報発信が盛んですが、日々の出来事や活動をじっくり伝えるためには、ブログでの情報発信が非常に有効です。今回、地域に根ざしたブログサービスである「河北新報オンラインコミュニティー」の基本的な使い方について学びます。

●日　　時：3月20日（金） 13:00～16:00（受付12:45～）
●場　　所：みやぎNPOプラザ 研修室（仙台市宮城野区榴ヶ岡5）
●対　　象：ブログでの情報発信を行いたい・強化したい団体等の方、ブログでの情報発信に関心がある個人の方
●定　　員：10名（先着順）
●参 加 費：1,000円（テキスト代）
●準 備 物：メールアドレス（ブログアカウント作成時に使用します）
※メールアドレスがない場合、こちらでご用意します
●申込方法：下記連絡先に①氏名、②連絡先（TEL・E-mail）、③性別をご記入の上、申込み
●申込締切：3月14日（土）
●主　　催：NPO法人 ICT支援NPOネットワーク宮城
●連 絡 先：TEL/FAX：022-293-7767（火～土曜日 9:30～18:00）
E-mail：ict@ictnpo-miyagi.jp
URL：http://www.ictnpo-miyagi.jp

3/21 大切な人を亡くした方のわかちあいの会

わかちあいの会では、ご遺族同士が、喪失による悲しみ、怒り、辛いお気持ち等を、静かに語り合います。日常生活で語れなかったことを、ご遺族同士でわかちあっていただく安心な場所です。

●日　　時：仙台会場　3月21日（土）【毎月第3土曜日】
・時間：14:00～16:30開催
・場所：宮城県婦人会館」（仙台市宮城野区榴ヶ岡5）
●対　　象：大切な方を亡くされた方（死因は問いません）
●参 加 費：無料（事前申込不要）
●申込方法：不要　※託児をご希望の方は要事前問合せ
●主　　催：NPO法人仙台グリーフケア研究会
●連 絡 先：〒983-0851　仙台市宮城野区榴ヶ岡5
みやぎNPOプラザ内
TEL：070-5548-2186
E-mail：griefoffice@gmail.com
URL：http://www.sendai-griefcare.org/

福島原発事故を忘れない、女川原発再稼働を許さない！

3/21 ふるさとを放射能から守ろう！ 3･21みやぎアクション

2015年は女川原発再稼働を許すのか否か、正念場の年になります。この3月に、昨年を倍する3, 000人の大集会とデモを実現したいと考えています。3.21みやぎアクションへの皆様の賛同を心よりお願いいたします。

●日　　時：3月21日（土）12:00～スタート！　※雨天決行
●場　　所：勾当台公園市民広場
●内　　容：12:00～ブース開店（～15:00）
【第一部】13:00～　ライブパフォーマンス
【第二部】14:00～　野外集会
佐藤和良氏（「原発事故子ども・被災者支援法推進自治体議員連盟」共同代表）

縦覧中

●縦覧中の団体の申請書類はこちらから確認できます　■宮城県 http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/seturitu-zyuran.html

NPO法人の設立を新しく申請した団体

宮城県等所轄分1月11日～2月10日
仙台市所轄分1月11日～2月10日

	団体名	所在地	活動内容	受理日
宮城県等	アドバンス	松島町	介護保険法に基づく介護事業	1/16
宮城県等	大塩みんなの家	東松島市	子どもの養育・生活支援事業及び高齢者生きがい支援相談事業	1/28
宮城県等	ゆつけっちゃ	大崎市	社会的課題の解決に取り組む団体の支援事業	2/6
仙台市	青葉山の緑を守る会	青葉区	「青葉の森緑地」を「自然環境学習の森」として位置づけ、成人には「生涯学習」、幼児・児童・生徒には「環境教育」の場として、観察会、視察会、写真展、学習会等を開催する事業 自然環境保護活動を普及宣伝するための資料、動植物生態地図作成、DVD製作等を行い、他の環境保護機関等に情報提供する事業 その他この法人の目的を達成するために必要な事業	1/30

NPO法人に認証された団体

宮城県等所轄分1月11日～2月10日
仙台市所轄分1月11日～2月10日

	団体名	所在地	活動内容	認証日
宮城県等	乳幼児保育園ミルク	石巻市	乳幼児及びその保護者に対する乳幼児保育・教育啓発に関する事業	1/13
宮城県等	太陽と風の夢楽園	石巻市	遊びや自然体験の場を提供する事業	1/16
宮城県等	わたりグリーンベルトプロジェクト	亘理町	亘理町沿岸部の緑化を通じた地域産業振興事業	2/5
仙台市	創の会	青葉区	障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス、その他障害者のために必要な事業	1/30

宮城県のNPO法人数 786団体
宮城県等所轄：370団体
仙台市所轄：416団体
※2015年2月10日現在

た菅谷先生とともに、これからの事を考えてみたいと思います。自治体の垣根を越えて、行政と市民の垣根をこえて、この地域に暮らす子どもたちのために。一緒に考えてみませんか?

●日　　時：3月15日(日)10:00～12:00(開場9:30)
●場　　所：岩沼市民会館大ホール
●講　　師：菅谷昭氏(医師・医学博士、現長野県松本市長)
●参 加 費：500円(中学生以下無料)
●申込方法：前売券販売中
　　販売先等の問い合わせは下記連絡先へ
●主　　催：菅谷昭講演会みやぎ実行委員会
●連 絡 先：みんなの放射線測定室「てとてと」
　　(月曜～金曜日9:00～12:00、土曜日9:00～15:00)
　　〒989-1241　柴田郡大河原町字町200
　　TEL/FAX：0224-86-3135
　　E-mail：sokuteimiyagi@kni.biglobe.ne.jp

3/15 シンポジウム「高齢者と防災～レジリエンス(回復力)の必要性～」

東日本大震災の被災者の多くを占めた高齢者。今後起こりうる大規模災害においても、高齢者の健康保持・回復は重要な課題となります。レジリエンス(回復力)をテーマに、生きがいづくり・健康づくりの新しい方策を提案します。

●日　　時：3月15日(日)14:15～16:45
●場　　所：仙台市シルバーセンター
　　(仙台市青葉区花京院1-3-2)
●内　　容：【第1部】基調講演「災害時の高齢者支援について
　　～被災地における運動支援活動～」
　　【第2部】事例発表・パネル討論
●定　　員：100名(先着順)
●参 加 費：無料
●申込方法：下記連絡先までTEL・FAX・E-mailにて、参加者名、連絡先をお知らせください
●主　　催：仙台市、次世代高齢者コンソーシアムせんだい
　　日本健康運動指導士会宮城県支部、
　　公益財団法人仙台健康福祉事業団
●連 絡 先：シルバーセンター交流啓発係
　　TEL：022-215-3170　FAX：022-215-4140
　　E-mail：Kouryu2@sendai-hw.r.jp
　　URL：http://www.senkenhuku.com

3/15 減災絵本「リオン」活動報告セミナー

私たちは、東日本大震災で多くの方が犠牲となったことを教訓にして、幼児向け減災絵本「リオン」を作製しました。子どもたちには、命の大切さを伝える防災・減災活動を行っております。全国で多くの反響をいただいた活動の内容を映像及び実際の読み聞かせを交えながら、絵本を使っての防災教育についてお伝えします。是非、減災絵本「リオン」を体感ください。

●日　　時：3月15日(日)9:30～10:40(開場9:15～)
●場　　所：仙台市民会館　2階　会議室7
　　(仙台市青葉区桜ヶ岡公園4-1)
●対　　象：幼児教育、防災教育に携わる方
●定　　員：30名(先着順、定員に達し次第締切。1団体1名まで)
●参 加 費：無料
●申込方法：下記連絡先まで、氏名、住所、連絡先をお知らせください
●主　　催：NPO法人防災士会みやぎ
●連 絡 先：TEL：080-1821-0335
　　Email：jimukyoku@bousaishi-miyagi.org

3/15 被災者の心を支えるために ～東日本大震災のこれまで、そして今後の災害に備えて～

東日本大震災の支援活動を通して私たちが学んだことの1つが、大災害後の地域に根差した心理社会的支援の重要性でした。基調講演に加え、シンポジウムでは東日本大震災後の地域支援および支援者支援の実践の具体例を紹介します。

●日　　時：3月15日(日)13:30～17:00
●場　　所：東京エレクトロンホール宮城(県民会館)401会議室
　　(仙台市青葉区国分町3-3-7)
●内　　容：基調講演「大災害後の回復力を高める～日本と世界への提言～」
　　シンポジウム、意見交換等
●参 加 費：無料
●申込方法：下記連絡先まで、氏名、所属、連絡先をお知らせください。当日参加も可能です。
●情報保障：通訳付き
●主　　催：公益財団法人プラン・ジャパン
●連 絡 先：TEL：03-5481-0030
　　Email：event@plan-japan.org

3/15 【宮城・岩手・福島】発 防災・減災と男女共同参画 ～今、わたしたちが伝えたいこと～

宮城、岩手、福島の被災地3県において、被災女性の支援にあたったNPOが震災発生以降の女性たちを取り巻く状況を報告し、課題解決に向けて共に考えます。

●日　　時：3月15日(日)18:00～19:45 (開場17:30～)
●場　　所：エル・パーク仙台　セミナーホール
　　(仙台市青葉区一番町4-11-1　141ビル5階)
●定　　員：100名
●参 加 費：無料
●申込方法：下記連絡先まで、氏名、所属、連絡先を明記の上、お申込みください
●主　　催：NPO法人イコールネット仙台
　　NPO法人参画プランニング・いわて
　　NPO法人市民メディア・イコール
●連 絡 先：NPO法人イコールネット仙台
　　TEL：090-1398-5065(佐藤)
　　FAX：022-271-8226
　　E-mail：emuna@ve.cat-v.ne.jp

3/17 蒲生に楽しい防災公園を

地域住民の避難場所を計画し、蒲生干潟の自然を守り、貞山運河の遺跡を再生し、仙台市民へ憩いの場所を造る、みんなが幸せになる防災公園を地元高校生が考えました。将来、防潮堤と長く関わってゆく自分たち高校生世代で将来を選択した計画です。ぜひ。お越しください。

●日　　時：3月17日(火)9:30～11:30
●場　　所：仙台市シルバーセンター　第二研修室
　　(仙台市青葉区花京院1-3-2)
●定　　員：100名
●参 加 費：無料
●申込方法：事前申込み不要、直接会場へお越しください
　　下記連絡先まで、氏名、連絡先をお知らせください
●主　　催：仙台の高校生で考える防潮堤の会

TEL：022-722-2873　FAX：022-724-4311
URL：https://www.env.go.jp/press/100316.html

事　業　案　内

「仙台自主夜間中学」2015年度生徒募集！

「仙台自主夜間中学」は、家庭の事情、病気などで小・中学校に行けなかった人、小・中学校を卒業していても、基礎学力が不十分のため、日常生活をする上で不便を感じている人、現在さまざまな理由で学校に行っていない人たちの入学をお待ちしています。4月1日の始業式に紙1枚と鉛筆1本を持っておいでください！

●開催日時：【昼間部】毎月第1、3水曜日　14:00～16:30
　　【夜間部】毎月第1、3水曜日　18:00～20:30
　　※4月開催日：4月1日(水・始業式)、4月15日(水)
●開催場所：仙台市市民活動サポートセンター　研修室
●対 象 者：仙台夜間中学では現在20代～80代の方々が学んでいます
　　・家庭の事情で中学校に通ったことのない人
　　・障がいがあって中学校時代満足に勉強ができなかった人
　　・中学校の教科をもう一度学びたいと思った人
●内 容 等：・小学校・中学校の学習範囲を、年齢・学歴・国籍に関係なく学べます
　　・希望する科目をボランティア講師が丁寧に教えます
　　・事前に連絡いただきますと勉強内容の打合せができます
　　※中学校卒業の資格は取得できませんので、ご了承願います
●参 加 費：入学金・授業料は不要、いつでも入学できます
●申込方法：事前にご連絡いただければ見学はいつでも可能です。まずは4月1日の始業式に来てみませんか！
●主　　催：仙台に夜間中学をつくり育てる会
●連 絡 先：TEL：090-7562-3227(担当：中澤)
　　E-mail：c.yasaka.r@ab.auone-net.jp

会　員　募　集

石恋達人さんたちの新しい一歩を応援しませんか？ 石恋ファミリー会員募集中！

「石巻に恋しちゃった♡」は、石巻地域で、趣味や特技を活かして、震災後の新しい一歩を踏み出す地域の人たち(通称：達人)を発掘、育成し、応援する「地域づくり人づくり」プログラムです。達人さんたちの中には、石恋がきっかけで、起業したり、趣味を共有する仲間を見つけたり、自分の自信に繋がったり、震災後外出できるようになったりした方がたくさん居ます。2013年2月の第1回から、これまでに106名の達人さんたちのプログラム開催に寄り添ってきました。この活動の趣旨に賛同し、継続的にご支援いただける個人または団体を募集しております。

●会　　費：入会金無料、年会費5,000円
●特　　典：石恋ファミリー特典
　　◆公式ガイドブックにお名前を記載(ご希望の方)
　　◆もっと石恋が好きになる！石恋ファミリー限定スペシャルプログラムも企画中
●申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで問合せのうえ、申込み
●詳　　細：詳細は下記URLリンク先をご確認下さい。
●連 絡 先：NPO法人石巻復興支援ネットワーク
　　(石巻に恋しちゃった♡実行委員会事務局)
　　TEL：0225-23-8588　FAX：022-774-1469
　　E-mail：ishikoi@yappesu.jp
　　URL：http://www.ishikoi.com

イ　ベ　ン　ト

3/6 はじめましてSOUP展@やまもと ーまぜると世界が変わるー

わたしたちは、宮城県内でさまざまに活動している障がいのある人たちの表現活動の原石を探し、その魅力や情報を発信し、新しい交流や参加の機会をつくりたいと考えています。1月に仙台で開催した企画展を山元町で開催！

●日　　時：3月6、7、8、13、14、15、20、21、22日
　　※金～日曜日11:00～16:00
●場　　所：ポラリス(旧在宅ケアセンターさくら　山元町高瀬字合戦原72-64)
●主　　催：NPO法人エイブル・アート・ジャパン東北事務局
　　TEL：070-5328-4208
　　E-mail：soup@ableart.org
　　NPO法人エイブル・アート・ジャパン東京事務局
　　TEL：03-5812-4622
　　E-mail：office@ ableart.org
　　URL：http://www.ableart.org/

3/15 菅谷昭氏講演会「原発事故にともなう健康被害の長期的課題」～チェルノブイリ事故の医療支援活動を通して～

チェルノブイリ原発事故4年目から顕著になり始めたという健康への影響。支援現場に「医師」として立ち会い、支援活動に携わっ

ありがとうございます！！

今月の新入会員・継続会員 (2015.2.16現在)敬称略

●正会員　50名

●賛助会員　78名

●寄付

<大崎市>　●鹿島台まちづくり協議会
<東京都>　●MS&ADゆにぞんスマイルクラブ

会　員　募　集

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	一口　3,000円
賛助会員NPO	一口　5,000円
賛助会員企業・団体	一口 20,000円

※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座

口座番号　**02250-0-43800**
加入者名　**特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる**

会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。

information

2月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア情報

東北風土マラソン&フェスティバル2015 ボランティア募集

昨年に引き続き2回目となる「東北風土(フード)マラソン」。東北地方中心に子どもたちの健康増進を目指し、「アシックス・トゥモローラン」も同時開催！一緒に大会をサポートするボランティアを募集します。

●活動日時：4月26日(日)6:00〜16:00
※活動により時間は異なります
●活動場所：長沼フートピア公園および周回コース
●活動内容：コース管理、給水、誘導など
●申込方法：下記連絡先のURLリンク先から申込み
●応募主体：東北風土マラソン&フェスティバル2015実行委員会
●連 絡 先：TEL：070-5549-0986(平日10:00〜18:00)
URL：http://tohokumarathon.com/

有給スタッフ募集

放課後等デイサービスのパート指導員募集

障がいのある小中高校生の放課後ケア及び長期休暇ケア事業を行なっている団体です。子どもが好きで、楽しく一緒に活動してくれるスタッフを募集します。

●勤務時間：月〜金曜日14:00〜18:30
土曜日(月1、2回)、長期休暇期間 9:00〜16:00
●就業場所：泉中央つばめっこ、七北田つばめっこ、
栄つばめっこ、福室つばめっこ
●資　　格：ホームヘルパー2級以上、教員、保育士、福祉系資格、普通自動車運転免許(AT限定可)
●待　　遇：時給820円〜
交通費実費支給(上限あり)、車通勤可、労災、雇用保険
●応募主体：NPO法人つばめっこ
●連 絡 先：◆泉中央・七北田つばめっこ(担当：桑原)
仙台市泉区七北田字日野123-9
TEL：022-372-0031
◆栄・福室つばめっこ(担当：佐藤)
仙台市宮城野区栄2-2-19
TEL：022-786-3031

お　知　ら　せ

貸ギャラリーあります 〜オリジナルの作品展を開いてみませんか〜

当店の壁面ギャラリーを利用して作品展を開催される方を募集します。※ご利用にあたり、簡単な審査があります。詳細につきましては、お気軽にお問合せ下さい。

●場　　所：Cafe&Art Restaurant　オリーブの風
(仙台市宮城野区榴ヶ岡5 みやぎNPOプラザ 1階)
●展 示 品：絵画･写真･版画･手芸品　など
●費　　用：無料
●期　　間：2015年3月〜11月の間で約1ケ月
●主　　催：NPO法人シャロームの会
(Cafe&Art Restaurant　オリーブの風)
●連 絡 先：担当：伊勢、牛澤
TEL：080-5731-4345(火〜土 9:00〜17:00)

みやぎNPOプラザ短期ショップ NPO任意団体 絆

被災者の生活を支援するために寄付活動や募金活動・被災地工芸品などの制作、販売を行っている団体です。

●日　　時：4月7日(火)〜4月12日(日)10:00〜17:30
●場　　所：みやぎNPOプラザ　短期ショップスペース
●内　　容：被災者の着物リメイク作品や古布の展示・販売します。希望者には着物リメイクのワークショップも開催します。
●主　　催：NPO任意団体 絆
●連 絡 先：担当：伊藤
TEL：090-1376-4444

平成27年度　地域活性化に向けた協働取組の加速化事業(地方事業募集)

地域における課題解決や地域活性化のためには、民間団体、企業、自治体等の異なる主体が連携し役割分担をしつつ、対等な立場で、相互に協力して行う協働の取組が重要になります。協働する上で必要となる様々な手法を明らかにして、これから協働を実施していこうと考えている団体の参考として共有することを目的に実施します。

●対象事業：A：既に一定程度の協働取組の実績はあるが、協働取組の成功事例にまで発展が期待される事業
B：法に基づく協定等の締結や連携を超えた協働取組を展開するには至っていない事業
●対象地域：東北(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)
●対象団体：環境関係の活動を行う団体(NPO法人、一般社団法人、一般財団法人等)、地域で環境保全に関わる事業を行う協議会、その他法人で国との請負契約者となりうる者
●該当テーマ：低炭素社会、循環型社会、自然共生社会、その他
※詳細は、下記URLからご確認ください。
●応募締切：3月31日(火)17時(必着)
●連 絡 先：東北地方事業窓口：
東北地方環境事務所　環境対策課

杜の伝言板 月刊ゆるる

ボランティア・市民活動情報

information　各種募集はこちらから

みやぎNPO情報ネット

かほく「108」ファンド

テーマ「子ども」

かほく「108」クラブは、社会貢献活動の推進を目的として河北新報グループ12社と、そこに働く従業員で構成し、寄附を出し合って運営している任意団体です。

応募期間　3月1日（日）～3月31日（火）消印有効

対象団体　宮城県内で活動し、1年以上活動実績があり、活動は非営利、公益的なものであること。（法人格の有無不問）

助成対象　「子ども」をテーマに、子どもにかかわる活動を展開している団体。
（例）「子どもの健全育成」「子育て支援活動」「いろいろな文化を通じた子どもの育成」など
※通算、3回を限度とします

助成金額　1件上限20万円（総額は150万円）

助成金の申請を受け付けます。

2015年度
かほく「108」ファンド受付開始
http://blog.kahoku.co.jp/csr/

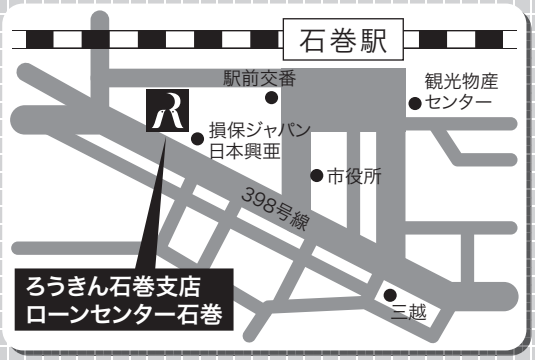
連絡先
かほく「108」クラブ事務局
〒980-8660　仙台市青葉区五橋1-2-28　河北新報社総務広報部内
TEL：022-211-1447　FAX：022-211-1448　E-mail：k108@po.kahoku.co.jp

ろうきんのローンセンターは土曜・日曜も相談OK!

～住宅ローンをはじめとした各種融資のご相談、お申し込みを専門にお取り扱い致します。～
ご来店の際は、インターネットやお電話でご予約されると、待たずにご相談いただけます。

ローンセンター石巻（石巻支店内）
〒986-0825　石巻市穀町16-6
TEL／0225-22-4050

2015年 3月16日(月) オープン!!



ローンセンター仙台（本店営業部内）
〒980-0023　仙台市青葉区北目町1-15
TEL／022-227-1471

ローンセンター長町（長町支店内）
〒982-0007　仙台市太白区あすと長町3-3-46
TEL／022-308-0262

ローンセンター泉
〒981-3135　仙台市泉区八乙女中央3-2-30
TEL／022-725-7233

●営業日／月曜～日曜　●営業時間／9:00～17:00
●休業日／12月31日～1月3日
月曜～金曜と重なる祝日
※土曜・日曜と重なる場合は営業いたします。

生活応援バンク ろうきん 東北労働金庫

東北ろうきん　検索　http://www.tohoku-rokin.or.jp　2015年3月1日現在

杜の伝言板ゆるる
発行：特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL 022-791-9323　FAX 022-791-9327
E-mail npo@yururu.com　URL http://www.yururu.com
編　集：大久保　朝江　大西　直樹　村上　千恵
デザイン：can
表紙イラスト：きのこ
発 行 日：2015年3月1日
発行部数：9,000部
印　刷：コマツ・コーポレーション
VEGETABLE OIL INK